

日常的な安全指導における 一声（ひとこえ）事例

【安全教育の目標】

日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるような資質・能力を次のとおり育成することを目指す。



安全教育で
身に付ける力

危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力の育成

生活
安全

交通
安全

災害
安全

安全教育の3領域

【安全教育の推進に向けて】

このシートは「安全教育プログラム（第12集）」（令和2年3月東京都教育委員会）の「必ず指導する基本的事項」に基づき、指導の際に参考となる「一声」をまとめたものです。安全教育の3領域「生活安全」、「交通安全」、「災害安全」について掲載しています。

近年全国各地で発生している風水害や近い将来起こりうる首都直下地震等の自然災害の状況、交通事故、犯罪等の社会的な情勢の変化など新たな課題も顕在化している状況があります。幼児・児童・生徒の安全対応能力を一層高められるよう休業後の学校再開時においても、上記に示す3領域の安全について日頃から意識し、安全教育に取り組む必要があります。

このシートは、短い時間で確実に指導を実施する際に活用していただくことをねらいとしています。朝の会や帰りの会、避難訓練等の短時間での取組において、「一声」指導を実施し、幼児・児童・生徒の危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力の育成を積極的かつ継続的に推進して下さるようお願いいたします。

危機を予測し、
回避する能力を高める

日常的な安全指導における 一声(ひとこえ)事例

いつでも、どこでも、
安全指導！

短い時間で、確実に安全指導ができる「一声事例※」を活用して
子供たちの危険を予測し、回避する能力を高めましょう。

【Ⅰ 生活安全】

Check☑

登下校の安全	1-① おうちの人と手をつないで、交通ルールを守って歩きましょう。	
	1-③ 曲がり角や、駐車場の出入り口等、特によく見て歩きましょう。	
校内での安全	1-④ 廊下の角は、相手のお友達が見えないよね。走っていたらどうなるかな。	
	1-④ 階段では、手すりを持って一人ずつ、ゆっくり降りましょう。	
家庭生活での安全	3-② 家のチャイムが鳴っても、出なくていいです。本当に用事のある人はもう一回来てくれるからね。	
	3-④ おうちの人が行ってはいけないというところには、絶対に行ってはいけません。	
地域や社会生活での安全	4-③ 知らない人に声をかけられても、絶対に一緒に行ってはいけません。	
	4-③ 連れていかれそうになったら、大きな声で「助けて」と叫びましょう。	
	4-⑥ いやだ、変だと思ったら、すぐに大人に知らせましょう。	
携帯電話等使用時の安全	5-① スマートフォン・携帯電話は勝手に使ってはいけません。	

【Ⅱ 交通安全】

Check☑

道路の歩行と横断 及び交通機関の利用	1-① 白い線の中や道の端を歩きましょう。	
	1-③ 道路を渡る途中でも、車が来ないか確かめながら渡りましょう。	
	1-③ 車の運転手さんの顔を見て、大きく手を挙げましょう。	
	1-④ 信号が青でも、右、左、右を見て渡りましょう。	
	1-⑤ 傘を人に向けてないように、気を付けて持ちましょう。	
自転車の安全な利用と点検・整備	2-⑥ 自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶり、頭を守りましょう。	
二輪車・自動車の 特性と心得	3-① 駐車場や止まっている車の近くで遊んではいけません。	
	3-① 車は急に止まれないので、飛び出さないようにしましょう。	
	3-③ 交差点で待つときは、道路よりもずっと下がって待ちましょう。曲がってくる車のタイヤに巻き込まれることがあります。	
交通事故防止と安全な生活	4-② 近くにいる大人に、「助けて」と伝えましょう。	

【Ⅲ 災害安全】

Check☑

火災時の安全	1-① 「おかしも」の約束を言えますか。放送や先生の話聞いて、「おかしも」を守って避難しましょう。	
	1-④ 火事するとき、燃えているところに絶対に近付きません。	
地震災害時の安全	2-① この音(緊急地震速報)は、もうすぐ地震が来ることを知らせる音です。	
	2-② 落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所を見つけて、ダンゴムシのポーズをとりましょう。	
気象災害時の安全	4-① 台風ときは、物が飛んでくるかもしれないので、外に出てはいけません。	
	4-① 川の水が急に増えるから、雨がやんでも川に近付かないようにしましょう。	
	4-② 雷が鳴ったら、近くの建物の中に入りましょう。	
避難所の役割と貢献	6-② 避難所では、みんなが少しずつ我慢をしています。わがままを言わないようにしましょう。	
災害の備えと安全 な生活	7-② おうちの人名前、おうちの電話番号を言えますか。	
	7-④ けがをしているところや痛いところを伝えられるようにしましょう。	

◆指導したら、Check☑しましょう。◆他の一声事例は「安全教育プログラム 第12集(令和2年3月)」(P.20~P.30)に収録しています。◆学校や地域の実情に応じた「一声事例」を考えてみることも、おすすめです！